



単元-4

友人関係の改善

授業-3

友情の輪を広げる

この授業では

- 生徒は、青少年に見られる「グループ」を越えて友人の輪を広げる方法を学習する。

ねらい

- 新しい友情を形成する方法を検討する。

今日の言葉

- 多くの人と一緒にいるけど、実際に誰が本当の友達なのかよくわからない。 ある中学生

<p>教材と準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ワークシート「グループを作ると？」 	<p>生徒は・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新しい友人を作るとき、「グループ」に属していることがどのような影響を及ぼすかを理解できる。 <input type="checkbox"/> 新しい友人の作り方を述べ、練習できる。
--	---

板書計画

ねらい 新しい友情を形成する方法を検討する。

今日の言葉 多くの人と一緒にいるけど、実際に誰が本当の友達なのかよくわからない。

新しい友人との出会い ・同じクラスになった ・部活が同じ ・共通の友人がいる
 ・実験班が同じ ・趣味が同じ ・好きなスポーツが一緒 ・好きな～が同じ

新しい友人に心を開けない（消極的）のは？

- ・恥ずかしい
- ・どのようにグループに加わればよいかわからない
- ・初めて会ったときどうすればよいかわからない
- ・拒否されるのが怖い

乗り越えるには!!!

- ・自信を高めるためのスキルを身につける
- ・他の人に救いの手を差し伸べる
- ・まずは1人新しい人と知り合うことから始める

グループ → 結束の固い友人からなる小集団
なぜグループを作るの？ → ・

疎外する行動

仲間に入れる行動

- ・
- ・
- ・

- ・
- ・
- ・

グループを作ることの長所

短所

- ・
- ・
- ・

- ・
- ・
- ・

流れ	学習内容	教材教具 ※留意点
<p>導入 (5分)</p>	<p>質問 今日の言葉を聞いて、この中学生は、どんな気持ちを表わそうとしているのか。</p> <p>質問 友情に対して不安を感じることはないか。また、「ただ一緒にいる」ことと「本当の友情」との違いは何だと思うか。</p> <p>説明 自分たちが今友情に不安を持っていて、友情についてもっと知りたいと思っているのは当たり前であることを指摘する。友情について考え学習するのは、まさに今、この思春期である。これまで本単元で「友情とは何か」「友達の尊敬する性質は何か」「友人関係において私たちは自分たちの好ましい性質をどのように分かち合うことができるのか」について話し合ってきたことを思い出させる。また私たちは、まず自分が自分が望むような友人にならなければいけないことも話し合った。今日は、友人の輪を広げる方法について学習する。</p>	<p>※「ねらい」と「今日の言葉」を板書／掲示。</p>
<p>情報とスキル (20分)</p>	<p>1. 新しい友人を作ることに前向きにさせる要因と後ろ向きにさせる要因を考える</p> <p>質問 以前新しい友人ができたときのことを思い出させる。その人とはどのようにして出会ったのか。2人の間に友情を芽生えさせた出来事は何か。</p> <p>例 同じクラスになった、部活が同じ、共通の友人がいる、理科の実験班が同じ、趣味が同じ、好きなスポーツが一緒 など</p> <p>質問 時として、人は新しい友人を作ることをためらう。誰か新しい人に対して心を開きにくいのはなぜか。</p> <p>例 恥ずかしい、どのようにグループに加わればよいかわからない、初めて会ったとき何をすればよいか(何を話せばよいか)わからない、相手に拒否されるのが怖い など</p> <p>2. 友情を築くために問題を乗り越える方法を挙げる</p> <p>質問 こうした問題を乗り越えるには、どうすればよいか。</p> <p>例 スキルを身につける、他の人のも助けをするなど、自信を高めることをする、まずは1人新しい人と知り合うことから始める など</p> <p>質問 あるグループに加わりたいとき、どうすればよいか。</p> <p>例 先生あるいはそのグループの責任者に自分もそのグループに入りたい、という希望を伝える、そのグループの1人と知り合いになる など</p> <p>質問 誰かと出会って友人になろうと思うとき、最初にどんな行動をとればよいか。</p> <p>例 その人を映画などに誘う、宿題のことを尋ねる、その人が参加しているチームやクラブに入る など</p> <p>注／この年代の多くの生徒は、友人を作るのが難しいということ覚えておく。</p> <p>3. 友情における「グループ」の役割を話し合う</p> <p>説明 新しい友人を作ろうとすると、相手に拒絶されるのではないかとという恐怖心、未知のものへの恐怖心が妨げになる場合がある。その結果、私たちは同じ友人とばかり付き合うようになり、時として「グループ」を形成する。</p>	<p>※友情を広げる具体的な方法を挙げさせ、板書する。生徒には、ノートに写すよう指示する。</p>

流れ	学習内容	教材教具 ※留意点
<p>情報とスキル 〈20分〉</p>	<p>質問 では、「グループ」とは何か。</p> <p>注／ここでは「結束の固い友人からなる小集団」へと導く。</p> <p>説明 定義によれば、「グループ」には特定の人しか加われない。つまり、仲間に加わるには「そのグループにふさわしい人」でなければならない。ということは、グループは「人を仲間に入れる」というよりも、「人を疎外する」ことが多いことになる。</p> <p>質問 この学校（学級）にも「グループ」はあるか。あれば、なぜ「グループ」を作るか。</p> <p>注／「グループ」について話し合うことで、居心地の悪い生徒もいるかもしれない。そういう生徒こそ、「グループ」がどのように（意図的であれ無意識であれ）他の人を傷つけるかを考える。この話し合いは、グループに入っている生徒も入っていない生徒も自分たちの選択や行動について考えることができる。そして、より仲のよい（みんなが含まれる）クラスや学校になることが期待できる。</p> <p>質問 「疎外する」「仲間に入れる」という言葉の意味を説明できるか。</p> <p>質問 「グループ」を作っている人が、他者に疎外感を与えるのは、どのような行動（言動）をとるときか。 → 板書 また、こうした他者を疎外する行動が、周りの人にどのような感じを与えるか。</p> <p>説明 「グループ」は人を意図的に疎外するものである。</p> <p>質問 では、「グループ」を作っている人が、メンバーに「仲間に入っている」と感じさせるために、どのような行動をとるか。 → 板書 また、こうした行動は「グループ」のメンバーにどのような感じを与えるか。</p> <p>指示 「グループ」を作ることの長所と短所を書き出させる。</p> <p>例 長所：どこかに所属している・友達がいる・親友がいる・学校やクラスの中である程度の立場を持っているといった安心感、人気者の気分、少人数でも人と付き合える など 短所：本当は言いたくないこと・やりたくないことをすることになる、グループから外される可能性がある、偏見を持たれる（グループの一員として）、他の人と付き合う機会が少ない、自信がないからグループの仲間と依存しあう など。</p> <p>4. グループを作る以外の方法を話し合う</p> <p>質問 友情を築いていながらも、グループを作らないことは可能か。 「グループ」はメンバーを束縛する。 「グループ」は多くの場合他者を疎外する。</p> <p>質問 この引用文は正しいか。正しいとすれば、友人を作るのに、他にどんな方法があるか。</p> <p>質問 他の人に従うことは、個性を伸ばし、自分で考えて選択する力をつけることを、どのように妨げるか。</p> <p>質問 みんなを「受け入れる」ことの長所は何か。</p>	<p>※出た案を板書する。</p> <p>※言葉の意味を知らなければ説明する。</p> <p>※2～3人の班を作る。</p> <p>※引用文を板書する。 ※「束縛する」という意味を理解しているか確認する。</p>

流れ	学習内容	教材教具 ※留意点
<p>練習 〈20分〉</p>	<p>1. 転校生に対して受け入れるロールプレイをする</p> <p>指示 他者に対して疎外感を与えるのではなく、「仲間に入っている」と感じさせる方法を練習する。5人でロールプレイをしてもらうが、3人は「前からこの町にいる子」、2人は「新しくこの町に引っ越してきた子」の役になる。この5人が、学校の食堂、家の近所、あるいはショッピングモールなどで出会う。3人にいくつかの質問をさせる。</p> <p>例 「最近この辺に引っ越してきたの?」「どこから来たの?」「いつ引っ越してきたの?」など</p> <p>質問 (ロールプレイを中断し) この3人がどのような行動(言動)をとると、2人に疎外感を与えるか。</p> <p>例 2人を無視する、目の前でヒソヒソ話をする、グループの活動に誘わない など</p> <p>質問 (新しく来た2人を演じている生徒に尋ねる) こうした行動をとられると、どのように感じるか。また、このような「疎外する行動」に対して、どのように対応するか。</p> <p>指示 3人に、新しく来た子を仲間に入れ、「歓迎されている」と感じさせる方法を演じさせる。</p> <p>質問 (3人以外の見ている生徒に尋ねる) このほかに「仲間に入れる」方法はないか。</p> <p>例 新しく来た子を遊びに誘う、宿題を一緒にしようと誘う、部活に誘う など</p> <p>質問 (2人に尋ねる) こうした行動をとられると、どのように感じるか。このような「仲間に入れる行動」に対し、どのように対応するか。</p> <p>2. 授業のまとめ</p> <p>説明 「疎外する行動」は、他者の気持ちを傷つける場合が多い上に、新しい友人を作る機会も制限してしまう。「仲間に入れる行動」は、友人の輪を広げ、人生をもっと楽しいものにしてくれる。</p>	<p>※生徒には、こうした好ましくない行動は演じさせない。</p>
<p>(振り返り)</p>	<p>質問 ・新しい友人関係を受け入れる姿勢でいることが必要なのはなぜか。(多くの回答を引き出す)</p> <p>・今日学んだことで、友人の輪を広げるのに役立つと思われるものは何か。2人組の相手に話す。</p> <p>・「仲間に入れる」態度を広めるため、自分や友人で何ができると思うか。</p>	<p>※2人1組を作る。</p>
<p>応用 〈5分〉</p>	<p>1. ノートへの記入</p> <p>指示 以下の3点についてノートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業を受けて、今後覚えておきたいこと ・新しい人に出会ったときにとる行動 ・この内容について誰と話をするか、またその人を選んだ理由 <p>指示 ワークシート「グループを作ると?」に記入する。</p>	<p>※ワークシート「グループを作ると?」</p>

年 組 番 氏名： 日付：

グループを作ると？

あなたが下記の2人の生徒と話し合っているとしましょう。彼らの友情やグループに関する経験談について、あなたの意見を書きましょう。

生徒1.「グループは常にできていると思う。つまり、友達同士集まって過ごしたり、おしゃべりしたり、スポーツしたりする。友達とは共通の興味を持っているから。私たちの学校にもたくさんのグループがあるし、すべてが悪いとは限らない。頼りにできて、親しく付き合える友達グループがあるのは、いいことだと思う。時として、人はグループに入り、時として去っていく。それは排他的なのだろうか。おそらく、私たちは疎外するつもりではないが、全ての人とうまくいくわけではないし、他の人達とも友達である。そんなに親しくなくても、話をしたりご飯を食べたりすることがある。事実、私は自分の友人達をグループとは思わないが、他の人達はそう思っているだろう。私の姉は、高校に入るとすぐにグループができたと言っていた。グループは今でもあるけれど、姉にはいくつかの異なるグループに友人がいる。私にとって一番大切なことは、頼れる親友がいること。もしそれがグループを作る、ということになるのなら、それは悪いことだろうか。」

あなたの意見

生徒2.「本当の友達って誰だろう。誰を信じられるだろう。時々わからなくなる。昨日仲良くしていた子をあざ笑ったりするグループと付き合っているかもしれない。明日、自分があざ笑われることになるとも知らずに…多くの人は、自分がバカにされたり恥ずかしい思いをすることによって、友情の難しさを学ぶ。グループは人を傷つける。大抵、自分が入っているグループは結局誰かを傷つけることになり、時として、それは自分自身である。私からのアドバイス：自分自身や他の人のために立ち向かおう。そうすれば、グループは、人をからかったり、疎外したりすることがよくないということがわかる。私は、大きな集団にいる方が、ずっと楽しいということがわかった。私は陰で他人のことを話したり、誰かの不幸をあざ笑ったりしない。私には頼れる友達がいる、彼らも私を信頼してくれている。」

あなたの意見